

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 26 No.18 2024年10月15日

製品・サービス動向-国内

■コマースロボティクス：AI 技術を駆使した最新の議事録作成サービス「AI ミニッツ」を正式にリリース、対面・オンライン会議に対応

(DreamNews：10月1日)

株式会社コマースロボティクス (<https://www.commerce-robo.com/>) (東京都港区) は、AI 技術を駆使した最新の議事録作成サービス「AI ミニッツ」を正式にリリースする。



AI ミニッツの画面例 (コマースロボティクス)

AI ミニッツは、対面・オンライン会議の音声を精度高く (95%) 文字起こしし、自動的に会議の内容を各社独自のフォーマット形式にサマライゼーションしたり、会議結果に基づくアクションプランまでまとめることができる高度な AI 議事録作成が可能なツール。

また、AI が誤認識した内容を自動で修正する機能も搭載。70% の誤認識を自動修正し、さらに精度の高い議事録を実現する。さらに、Zoom、Teams、Google Meet など主要な Web 会議ツールと連携し、オンライン会議の議事録も自動作成することが可能となっている。

AI ミニッツは、同社独自の AI プラットフォームを

利用しており、機密性の高い会議でも安心して利用できる高度なセキュリティを提供する。

■NTT 西日本：ひかりクラウド電話 for Webex Calling の提供開始

(10月15日)

西日本電信電話株式会社 (<https://www.ntt-west.co.jp/>) (大阪市豊島区、以下、NTT 西日本) は、2022年2月に提供を開始した「ひかりクラウド電話」のラインナップとして、アプリや豊富な専用電話機など多様な端末での外線発着信を可能とする「ひかりクラウド電話 for Webex Calling」を11月15日より提供する。



ひかりクラウド電話 for Webex Calling 利用イメージ (NTT 西日本)

Webex Calling にてオフィスの固定電話の番号 (06-xxxx-xxxx 等) の発信・着信が可能となり、オフィスの音声通話環境をパソコンやスマートフォンに統合することができる。また専用電話機などを利用することにより、幅広いツールからの通話を実現する。

今回の提供開始により、場所を選ばず、オフィスに着信していた会社の代表番号を Webex Calling で受けることが可能になる。また、機器設置や配線工事など

が不要。さらに BYOD（私的デバイスの業務利用）で会社の固定電話の番号を利用できるようになる。加えて、専用固定電話機も豊富なためこれまでのビジネスホンや PBX での通話スタイルを維持したいニーズにも対応する。本サービスの利用に際しては、シスコシステムズが提供する Webex Calling 機能を有するライセンスの契約が別途必要になる。

	月額利用料（税込）	内訳（税込）	
1番号目	1,430円/番号	UC接続 ^{※5} 基本利用料	220円/番号
		ひかり電話オフィスA（E-ス）基本利用料	1,210円/番号
2番号目以降 追加番号	1,100円/番号	UC接続 ^{※5} 追加番号ID接続料	990円/番号
		ひかり電話オフィスA（E-ス）追加番号利用料	110円/番号

月額利用料（NTT 西日本）

今回、NTT 西日本にて提供開始することで、すでに東日本地域の NTT 東日本（2022 年 6 月 27 日発表）で提供されている「ひかりクラウド電話 for Webex Calling」とあわせて、日本全域で Webex Calling を利用することが可能になる。

ビジネス動向-国内

■ZVC Japan：丸の内にオフィスに移転

（PRTIMES：10月15日）

ZVC Japan 株式会社（<https://zoom.us/>）（東京都千代田区）は、10月15日に本社を東京丸の内永楽ビルディングに移転したと発表。



新オフィス（ZVC Japan）

皇居を一望できる新オフィスでは、執務室に加え

「Zoom Rooms」を備えた会議室のほか、オンサイトでの全社ミーティングやセミナーの開催などが可能な多目的スペース、休憩エリア、コラボレーションスペースを完備している。

今回同社は、日本国内における Zoom のビジネス拡大を視野に入れ、多くの企業や公的機関の中枢にも程近く、交通の便も良い東京丸の内エリアへの移転を決めた。これにより、お客様やパートナー様との対面での打ち合わせの利便性がより一層向上し、また Zoom のテクノロジーを紹介するための専用スペースや社員がハイブリットに働ける充実した設備のフリーアドレスの執務エリア等を設けることで、さらなるビジネスの活性化を見込む。

新たなオフィスへの移転によって、従業員がより働きやすい環境を整備し、より良いサービスやサポートを提供することで、お客様の快適なコミュニケーションを促進する。

■ブイキューブ：京急開発、テレキューブ3社で、BIGFUN 平和島で全天候型可動式個室ブース「テレキャビン」の快適性についての実証実験を開始

（10月7日）



テレキャビン（ブイキューブ）

京急開発株式会社（<https://www.keikyu-kaihatsu.co.jp/>）（東京都大田区）と株式会社ブイキューブ（<https://jp.vcube.com/>）（東京都港区）、テレキューブ株式会社（<https://telecube.jp/>）（東京

都千代田区)は、京急開発が東京都大田区平和島で運営する大型商業施設「BIGFUN 平和島」に隣接する駐車場「平和島パーク No.3」の半屋外スペースに、断熱性の高い全天候型可動式ブース「テレキャビン」と専用エアコン「キューブリース」を設置し、屋外警備スタッフの休憩室としての快適性を検証する実証実験を10月1日から11月30日の2か月間実施する。

期間中はBIGFUN 平和島の屋外警備スタッフの熱中症・極寒対策用の休憩室として利用し、期間終了後に利用者アンケートを実施し、休憩室としての快適性および居住性に関する満足度調査を行う。

テレキャビンとは、2024年4月よりブイキューブグループが提供を開始した屋外設置可能な可動式個室ブース。軽量かつ耐久性、断熱性の優れた製品に仕上げるために主に98%空気である発砲スチロール(EPS)素材を使っている。また外壁はポリウレタ塗装などで仕上げ、風雨の影響を受けるような場所でも設置が可能な製品となっている。室内の広さは2.85mのゆったりとしたスペースを取りLED間接照明や専用エアコン(キューブリース)が設置されているため快適に過ごすことができる。

想定設置場所は、大型商業施設をはじめ、ロードサイドにある駐車場併設のコンビニエンスストア、コインランドリー、貸し駐車場、ゴルフ場、駅のホーム、工場施設内、工場施設の食堂、高架下、アミューズメントパーク、キャンプ場などになる。

今回、半屋外に設置されたテレキャビンが、昨今の気候変動など夏場の熱中症対策や冬季の極寒にも対応できる休憩室として快適に利用できることを検証する。

ビジネス動向-海外

■ Zoom 社：元マイクロソフト幹部 Michelle Chang 氏が最高財務責任者に就任

(10月1日)

Zoom Video Communications 社 (<https://zoom.us/ja>) (米国・カリフォルニア州) は、Michelle Chang 氏を10月7日付けで最高財務責任者(CFO)に任命したと発表。現任のCFO Kelly Steckelberg 氏の後任となる。

Chang 氏は、財務に関する25年以上の経験と実績を持ち、直近では、マイクロソフト社のコマーシャルセールスおよびパートナー組織担当コーポレートバイスプレジデント兼CFOを務めた。それ以前は、モダンワークプレイス(OfficeとTeamsを含む)とサイバーセキュリティのコーポレートバイスプレジデント兼CFOなどマイクロソフト社で数多くの指導的地位を務める。またその前はアーサーアンダーセン社で監査およびコンサルティングシニアとしてキャリアをスタートした。ワシントン大学で会計学の学士号を取得している。

Chang 氏は、Zoom 社の財務戦略を監督する責任を負い、投資家向け広報、税務、会計、FP&A(財務計画や分析)を含むグローバル財務組織を率い、Zoom 社創業者兼CEO Eric Yuan 氏に直接報告する。Kelly Steckelberg 氏は引継ぎを含めたアドバイザー的立場で10月31日(第3四半期)まで同社に残る。

導入利用動向-国内

■Neatframe：DX ハイスクール採択校茨城県立鹿島高等学校がオンラインの遠隔授業に Neat を採用

(PRTIMES：10月2日)

Neatframe 株式会社 (<https://neat-japan.com>) (東京都千代田区) は、文部科学省主導の DX はハイスクール採択校である茨城県立鹿島高等学校 (<https://www.kashima-h.ibk.ed.jp/>) が、Neat のビデオ会議デバイスを採用したことを発表した。

今回の導入により、鹿島高校は DX ハイスクールの目標として掲げる「未来の人材育成に必要な、専門性の高い科目や高度な理数系の授業を受講できるオンライン授業環境の整備」を実現した。

自治・勤勉・快活を教育方針として掲げる鹿島高校は、これまでも理数系の学力向上に力を入れてきたが、DX ハイスクールの対象校として採択され、より高度な授業内容をカリキュラムに組み込む取り組みをしている。



茨城県立鹿島高等学校 (Neatframe)

具体的には茨城大学工学部から講師を迎え、最新の研究動向を紹介するなど、生徒たちの向学心向上を図っている。また、筑波大学システム情報系の吉瀬章子教授を講師とし、オンラインでの遠隔授業を行うことも予定している。

鹿島高校は、複数のビデオ会議システムを比較検討し Neat を選定した。選定理由は、セットアップと操作がとても簡単で、先生方も利用しやすくなるという

点が高く評価され、導入に至る。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (10月)

「商談数を 1.5 倍に押し上げるモチベーション向上×セールス・イネーブルメント」など

会場：オンライン/オンデマンド

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー (10月)

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

■Zoom ユーザー向けミートアップイベント

Zoomtopia Japan MeetUp 2024 仕事をもっと楽しく：Work happy with Zoom AI Companion

日時：10月17日(木) 15:00~18:30

(受付開始：14:30)

会場：大手町プレイスホール&カンファレンス

詳細・申込：<https://click.zoom.com/zoomtopia-meetup-2024-jp>

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事のみ)ですが、CNAレポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集

のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

>メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

今後とも宜しくお願い致します。

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）
は下記URLで閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

お知らせ（重要）

—配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、
まぐまぐですが、まぐまぐでの配信を10月末号にて
終了させていただきます。今後は、CNAレポート・
ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook
ページ、dte-forumメーリングリストでの配信とさせ
ていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の
方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お
願い致します。

>CNAレポート・ジャパンサイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebookページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

CNAレポート・ジャパン 2024年10月15日号

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp